

1. 件名：検査制度見直しに関する東京大学との面談

2. 日時：令和2年3月9日（月） 14：00～15：30

3. 場所：原子力規制庁 2階中コア会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設等監視部門 熊谷統括監視指導官、関主任監視指導官

東京大学 大学院工学系研究科 原子力専攻 教授 他4名

5. 要旨

（1）東京大学から、新たな検査制度の実施に必要な規定類の整備に当たって、提出の期限や添付すべき図書等に関する形式的な質問があり、原子力規制庁から、令和2年2月5日開催の第61回原子力規制委員会資料に基づいて回答を行うとともに、本件に関係する原子力規制庁と日本原子力研究開発機構等と実施している面談の状況等について認識を共有した。

（2）原子力規制庁から、現在検討中の核燃料施設の特徴に着目した安全重要度評価の検討状況について情報提供を行い、東京大学から、英国のセラフィールドで検討されている核燃料施設の評価手法に似ており、評価項目や考え方などが参考になるのではないかとの意見があった。

（3）原子力規制庁から、核燃料施設には、電気事業者における原子力エネルギー協議会のように情報共有する機関が存在しないため、規則の内容や申請図書の形式的事項に係る相談については、積極的に協力していくことを伝えた。

6. 配布資料

なし